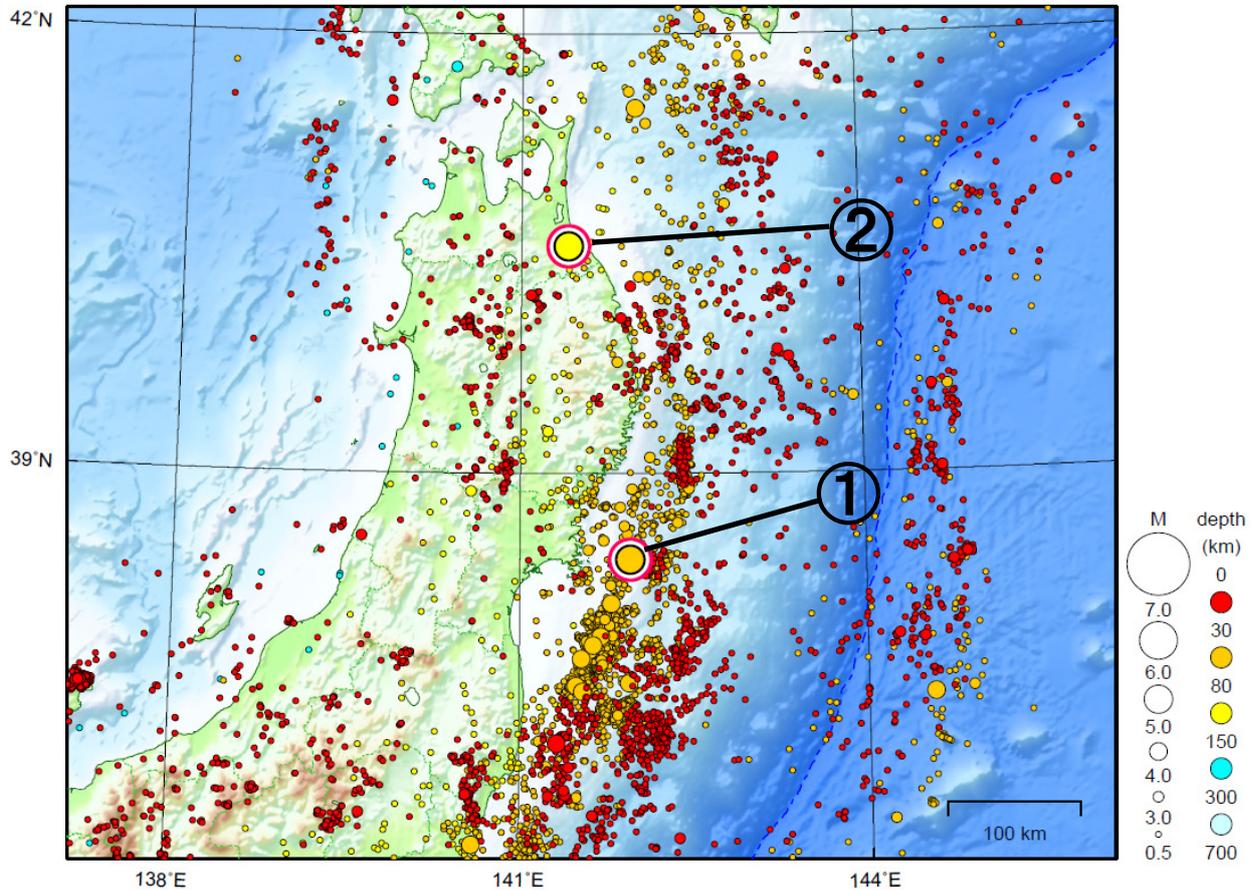


東北地方

2022/07/01 00:00 ~ 2022/07/31 24:00

N=9226



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 7月6日に宮城県沖でM5.4の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 7月22日に青森県三八上北地方でM5.3の地震（最大震度4）が発生した。

（上記期間外）

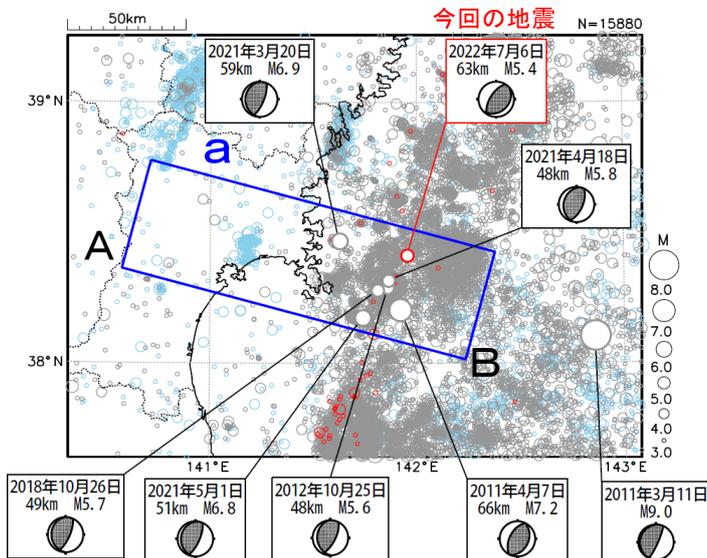
8月4日に福島県沖でM5.6の地震（最大震度4）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

7月6日 宮城県沖の地震

震央分布図
 (1997年10月1日～2022年7月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)
 2011年3月10日以前に発生した地震を水色、
 2011年3月11日以降に発生した地震を灰色、
 2022年7月に発生した地震を赤色で表示
 発震機構はCMT解

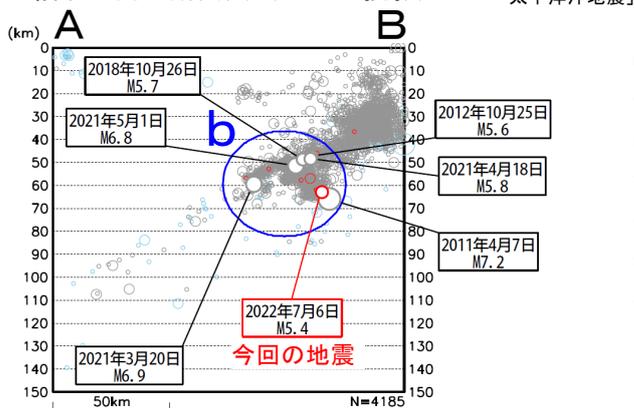


2022年7月6日05時10分に宮城県沖の深さ63kmでM5.4の地震(最大震度4)が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構(CMT解)は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

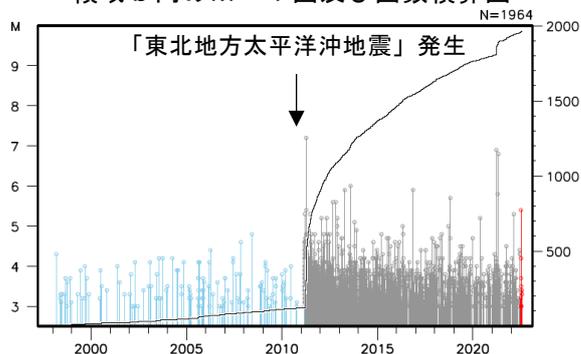
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」(以下、「東北地方太平洋沖地震」)の発生前はM5.0以上の地震は発生していなかった。「東北地方太平洋沖地震」の発生以降は地震の発生数が増加し、M5.0以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「東北地方太平洋沖地震」の発生前からM7.0以上の地震が時々発生している。このうち、1978年6月12日に発生した「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)では、気仙沼漁港で120cm(全振幅)の津波を観測した。この地震により、死者28人、負傷者1,325人、住家全壊1,183棟、半壊5,574棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

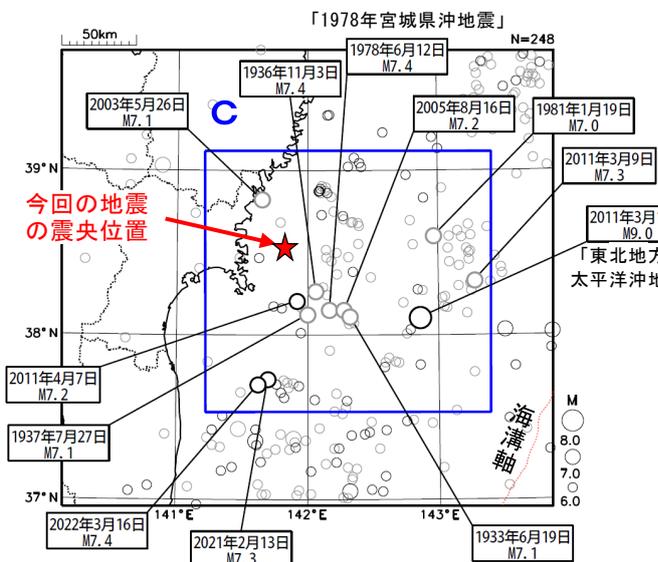
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



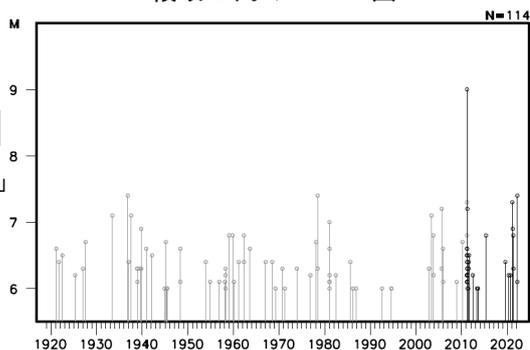
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



震央分布図
 (1919年1月1日～2022年7月31日、
 深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
 2011年3月11日以降に発生した地震を濃く表示

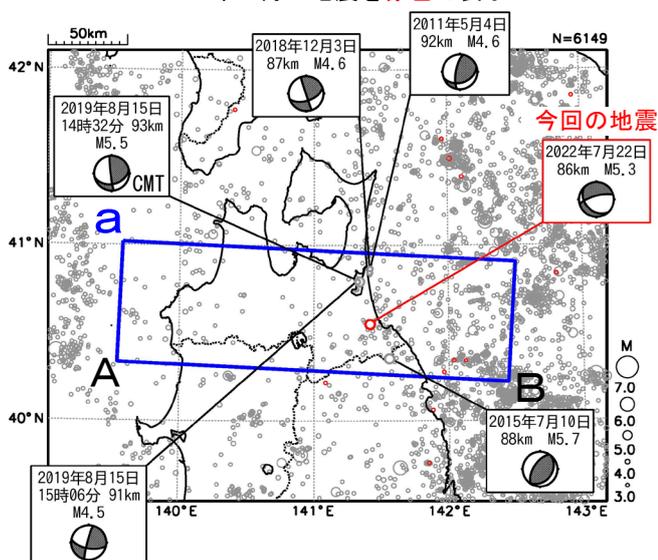


領域 c 内の M-T 図



7月22日 青森県三八上北地方の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2022年7月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 3.0$)、
2022年7月の地震を赤色で表示

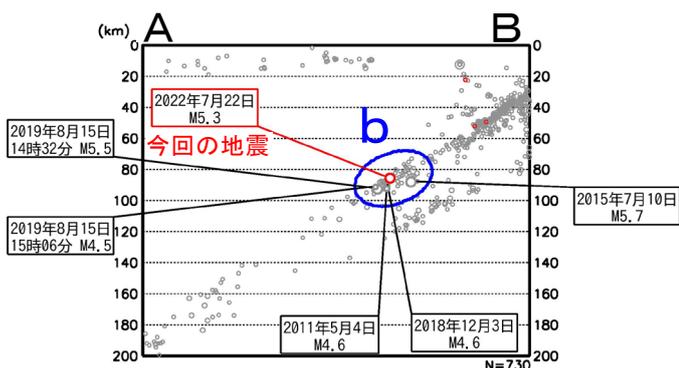


2022年7月22日12時01分に青森県三八上北地方の深さ86kmで $M5.3$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ型である。

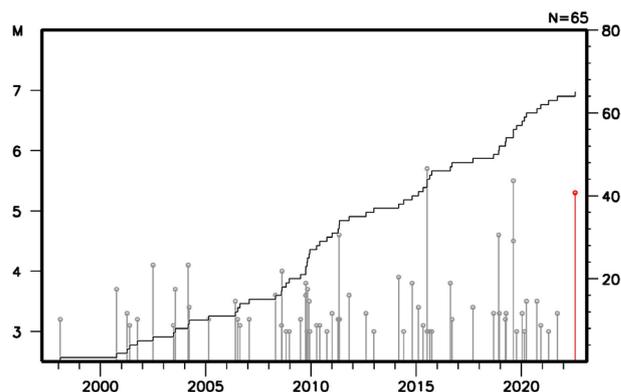
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M4.0$ 以上の地震が時々発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M7.0$ 以上の地震が時々発生しており、1995年1月7日には「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」の最大余震である $M7.2$ の地震 (最大震度5) が発生した。

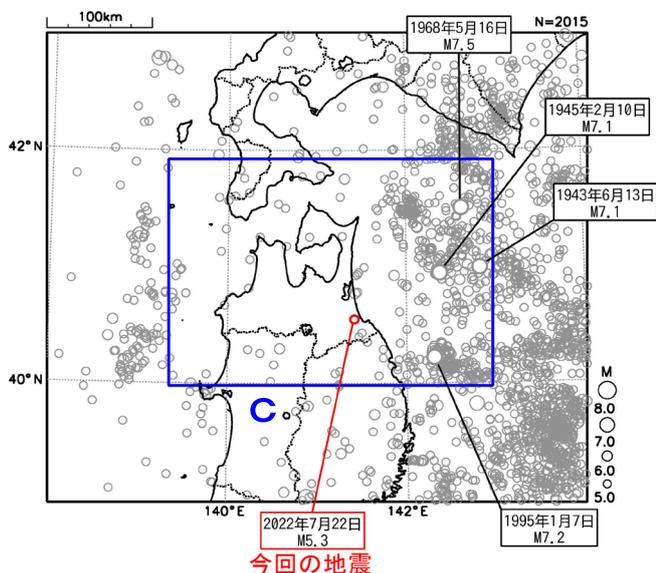
領域a内の断面図 (A-B投影)



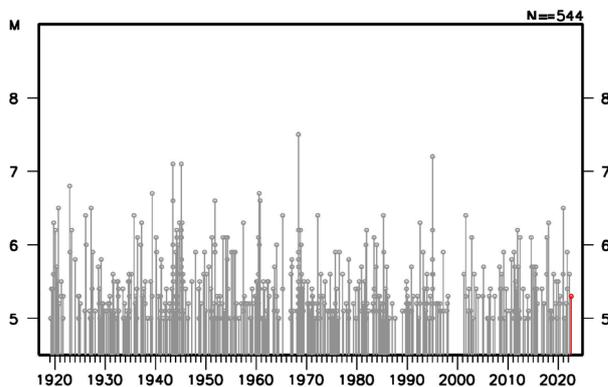
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2022年7月31日、
深さ0～200km、 $M \geq 5.0$)、
2022年7月の地震を赤色で表示



領域c内のM-T図

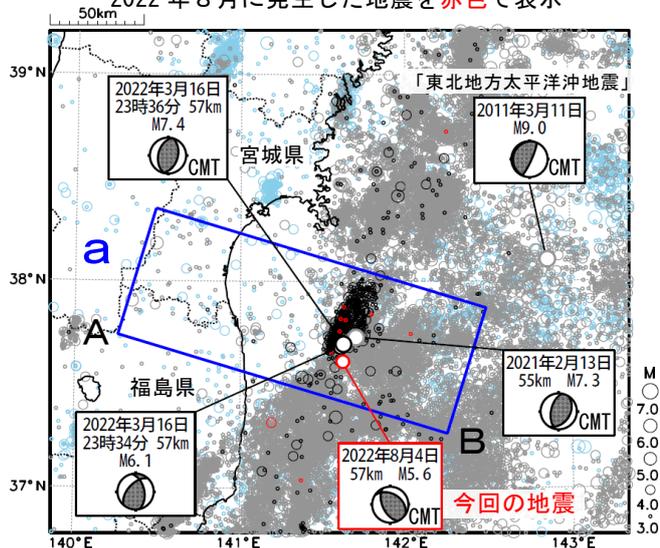


8月4日 福島県沖の地震（3月16日からの地震活動）

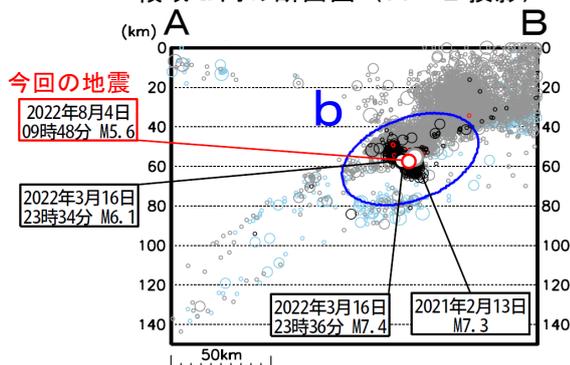
震央分布図

(1997年10月1日～2022年8月4日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前に発生した地震を**水色**、
2011年3月11日以降に発生した地震を**灰色**、
2022年3月16日以降に発生した地震を**黒色**、
2022年8月に発生した地震を**赤色**で表示



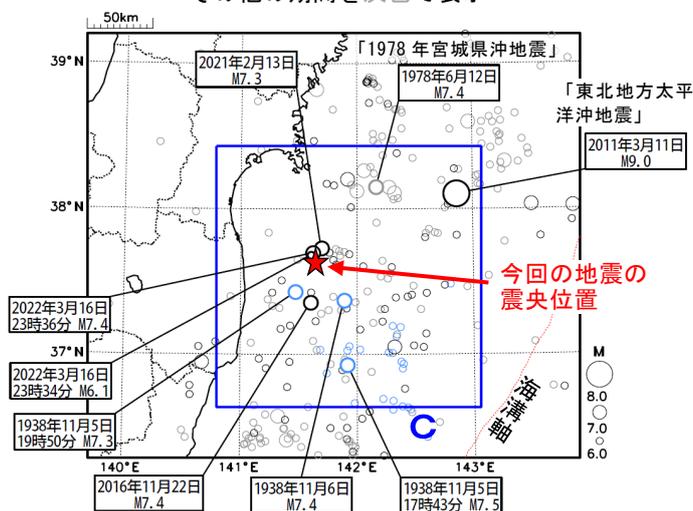
領域a内の断面図（A-B投影）



震央分布図

(1919年1月1日～2022年8月4日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

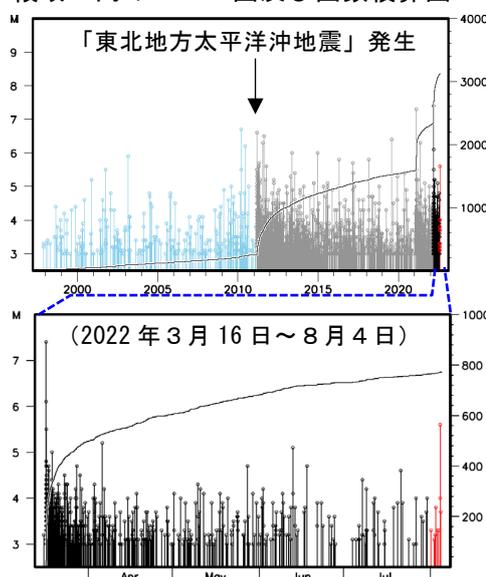
1938年11月5日～1938年11月30日の地震を**水色**、
2011年3月11日以降の地震を**黒色**、
その他の期間を**灰色**で表示



2022年8月4日09時48分に福島県沖の深さ57kmでM5.6の地震（最大震度4）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT解）は、北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震の震源付近（領域b）では、2022年3月16日のM7.4の地震（最大震度6強）の発生後、地震活動が活発になっており、震度1以上を観測する地震が3月は107回、4月、5月、6月はそれぞれ18回、7月は7回発生した。

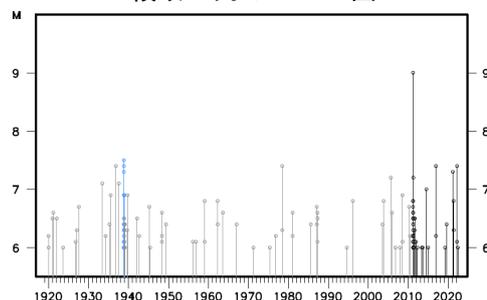
1997年10月以降の活動をみると、領域bでは「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）の発生以降、地震の発生数が増加し、M6.0以上の地震が時々発生している。

領域b内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域c）では、「東北地方太平洋沖地震」の発生以前からM7.0以上の地震が時々発生しており、1938年11月5日17時43分にはM7.5の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、宮城県花湊で113cm（全振幅）の津波を観測した。この地震の後、同年11月30日までにM6.0以上の地震回数が増加するなど、福島県沖で地震活動が活発となった。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域c内のM-T図



気象庁作成

震度 1 以上の月別最大震度別地震回数表
(2022 年 3 月 16 日～ 8 月 8 日 08 時)

期間	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数	
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	合計	累計	
2022/3/16～3/31	68	26	10	1	1	0	0	1	0	107	107	
2022/4/1～4/30	13	4	0	1	0	0	0	0	0	18	125	
2022/5/1～5/31	11	6	1	0	0	0	0	0	0	18	143	
2022/6/1～6/30	13	3	2	0	0	0	0	0	0	18	161	
2022/7/1～7/31	4	3	0	0	0	0	0	0	0	7	168	
2022/8/1～8/8 08時	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	170	
総数	110	42	13	3	1	0	0	1	0	170		

震度 1 以上の日別地震回数グラフ
(2022 年 3 月 16 日～ 8 月 8 日 08 時)

